

NPO法人 ニッポン・アクティブライフ・クラブ
ナルク (NALC) 宝塚・川西・伊丹・猪名川

《 ささえあい 》 10月号

事務所 〒666-0015 川西市小花2丁目25-1 TEL・FAX 072-759-3269

メール nalc.sasaeai@gmail.com HP : [ナルク宝塚・川西] 検索 →

会員数 9月30日現在 135世帯・会員193名・賛助会員 9名・4社



第 3 回兵庫地区連絡協議会に参加して

伊藤恵美子 (川西)

9月20日(水) アステ市民プラザルーム3にて、本部(田中専務理事)および兵庫県の5拠点、芦屋・北神三田・丹波・東神戸と当拠点(尼崎は欠席)からの12名の出席で行われた。

「夫々共通の問題としての声」

- *高齢化による活動減少に伴って収入の減少(当拠点からは赤いポストを紹介)
- *役員のなり手が無い、若い人がいない
- *人材不足に悩む

私達の拠点では昨年~今年に入り退会者が多くなって来た。平均年齢も79.6才とぐんと高くなりつつも踏ん張っている。どの拠点も多くの問題をかかえている中、東神戸では事務所入り口を利用し「ナルクカフェ」(100円)をオープンし、人と人との交流を深めている。明るい話題に刺激を受けたと同時に魅力を感じた。

ナルクは来年30周年を迎える。ナルクの良いところを引き出し、各拠点の代表を含め「支えあい」が何より大事かを心に刻んだ。

終了後、折角各拠点から集まったので、各自割り勘で懇親会があり参加、お互いの悩み事や公式の会合で言えないことなどの話が出来て大変参考になった。



厚東代表挨拶

【らくごクラブのご報告】

「楽しい一日でした」

柴川広一 (川西)

らくごクラブの夏は、去り行く(100年近い歴史のある)妙見の森ケーブルとリフトを、もう一度楽しもうとの企画です。

9月16日(土) 能勢電鉄終点妙見口駅前の「かめたに」の駐車場に集合、女性6人・男性6人です。世話役米田さんより本日の行動予定を聞き午前10時過ぎ出発。花折街道からケーブルへと向かいました。午前というのに30度を超す暑さです。当日は阪急電鉄・能勢電鉄歩く会の催しもあり、ケーブルは満員で発車、最後の一人は31人目と言っていました。リフト迄の上り坂、「ここが一番の難所です」との案内の通り足がしびれました。少しの休みの後全員リフトに乗車、下車してすぐ右手の北摂七福神大黒堂に参詣、堂前で全員集合写真に収まりました。

ここから頂上までは少しの距離ですが、広い駐車場があり右・左・奥にと登山道があります。私も何度か通りました。

下山し12時30分ケーブル発着駅(黒川)に再度の集合、13時予約の「かめたに」へ向かい昼食



「議題」

- 1) 運営委員会を拠点活動に計上の件(厚東)……他の拠点では、計上の例あり
- 2) 拠点会報を本部に合わせて隔月発行の提案(厚東・平塚)……意見色々あったが、4 役を含む専門部会を設けて検討後決定する
- 3) 兵庫地区連絡協議会の件(厚東・米田)……9 月 20 日(水) 本部と兵庫 6 拠点 当拠点の当番で、アステ市民プラザで開催 厚東・米田・中田・北川・伊藤の皆さんが出席
- 4) 夏の「らくごクラブ」について(米田)……9 月 16 日(土) 妙見の森ケーブルの散策
- 5) 軟骨伝道集音器のお知らせと説明会の件(鶴崎)……2～3 名でモニターをしてみる
- 6) 拠点リーダー養成講座開催の件(厚東)……11/9(木)・10 日(金) 中尾俊充さんが参加予定

【ググってみました(10)】 「ガラケーについて」

井上堅也(宝塚)

○ガラケーとはどんな意味？

ガラケーとはガラパゴス携帯の略で、いわゆるスマートフォンが登場する前の「普通の携帯電話」のことを意味します。じゃあ、どうしてわざわざ「普通の携帯」のことをガラケーなどと言い換えたのかと言いますと……それは、日本の携帯が世界から隔離されたような環境で独自の進化をとげたからなんです。

ワンセグ・着うた・着メロ・電子マネー・おサイフケータイ・アプリ・ゲームなど、日本では当たり前のような機能も、実は海外ではほとんど普及していない機能なのです。

この様に世界標準から外れた独自の進化をとげた日本の携帯のことを、他の島との接触をさけてオリジナルな進化をとげたガラパゴス諸島の生物に例えて表したのがガラケーなのです。しかし最近では、「この様な表現は日本の携帯をバカにしている」として、フィーチャーフォン(個性的な電話)と言い換える人たちも増えてきました。

○ガラケーはいつまで使えるの？

ドコモの「FOMA」および「iモード」は2026年3月31日で終了します。auの3G回線「CDMA 1X WIN」は2022年3月31日で終了しました。ソフトバンクの3Gサービスは2024年1月下旬で終了します。各キャリアからは、3G終了にともなってガラケーから4G・5Gに対応したスマホへの買い替え・機種変更を促しています。(つづく)

【拠点エリア内の名所史跡のご案内】

「伊丹」

狩野 勇(伊丹)

伊丹市立図書館 “ことば蔵”

猪名野神社(拠点会報“ささえあい”第304号、2021年10月に掲載)の近くに12年7月に地上4階、地下1階の3代目市立図書館として開館しました。

「ことば蔵」は、伊丹市が江戸時代に清酒発祥の地として酒造業で発展し、多くの文化人が訪れたことにより華開いた俳諧文化を「ことば文化都市」と称して継承していることから名づけられています。

コンセプトは、誰もが気軽に訪れて交流することができる「公園のような図書館」です。大きな特徴とつとして伊丹作家コーナーが設けられ田辺聖子氏と宮本輝氏の著書やパネル等を展示しています。

“ことば蔵”について

- ・蔵書数は約37万冊(内、開架;約19万冊)
- ・開館時間;平日9:30~20:00。土日祝9:30~18:00
- ・アクセス;徒歩で阪急伊丹から10分、JR伊丹から15分
- ・図書館利用券の発行;阪神間に住んでいる人(猪名川町もOK)



入口外観



田辺聖子の文学館資料

25 年前の平成 10 年に「老人力」という本が発売されています。前衛芸術家で芥川賞作家の赤瀬川源平さんの生き方論のエッセイで「老人力」はその年の流行語にも選ばれています。

今さら全部読み直すのもバカバカしいですから、おいしいところだけつまみ食いをしてみました。老人力とは「老人になっても若いモンには負けずに力を発揮」などという脱・老人的発想を持って生きよという意味ではありません。むしろその逆で、かつては神経質で完璧主義と呼ばれた著者が還暦を迎えて気づいた、老いのユルユル感の面白さのことです。「えーとほら、あの、あれに出てた・・・」「そうそう、あれでしょう、あの、ほら、あれ・・・」年を取ると人間だれでもこういうボケ会話が増えますし、モノ忘れがひどくなります。また体力がなくなり、話が長くなるなどの現象もあります。

若い人達は、これを「モーロクした」というらしいですが、著者はこれを「老人力がついた」と表現しています。つまり、老人力とはボケるとか足腰が弱るといった物理的なものではなく、感覚的な「味わい」・「侘びとかさび」などの「未知のエネルギー」のことらしいです。

ところで、この未知のエネルギー、発売から 25 年を経たこの時代何かのお役に立っているのだろうか・・・。

文芸コーナー

今月は「川上哲治」の名言です



「人生を味わうことと、人生を享楽することとは、似て大いに非なるものだ。前者は努力の果てに、人生の意味を知ることであり、後者は単なる命の消費に過ぎない。」
『これほどの努力を人は運といい』

【言葉の由来】

『「にっちもさっちも」』

どうにもやり繰りがつかない、ちつとも進展しない時に用います。漢字で「二進も三進も」と書き、これは算盤の割り算の九九から出た言葉です。算盤では「二進が一十」とか「三進」という教え方をしていました。「にっち（二進）もさっちも（三進）もゆかぬ」は、算盤用語だけあって、もとは金銭のやりくりがつかない意味だったのです。江戸時代の雑俳に「にっちもさっちも眼鼻つけんと顔が無ひ」とあり、やり繰りしようにも眼鼻をつける顔がない、生活に困窮している状態を言っています。

【俳句】

『行きあひの空や山湖の君と僕』

杉木妙子

【短歌】

『雨やみてほどなきこの街中に赤黄色白の花活活きと』

松野綾子

【川柳】

『甲子園ホームラン風今日吹かず』

お題「風」 喜楽トンボ

『編集後記』

ご承知のように、今年の高校野球は慶応高校が 107 年振りに優勝しました。ボンボンの先入観があったから、2 回戦くらいで敗退と思っていましたが、さにあらずどんどん勝ち進んで優勝。

選手達はボンボンどころか遅しくて、投手力が良く体格のいい選手が多い上、足が早く打撃のいい選手が沢山いたことや、神奈川県予選決勝で横浜高校を撃破して、出場しただけあってさすがに神奈川代表と思わしめました。左右の両エースは 2 年生なので、来年も慶応旋風が吹くことでしょう。

監督の指導法が素晴らしく、「笑顔を忘れず、楽しんでやるように」と教えられたからのびのびと試合出来て実力が存分に発揮出来た結果と思います。

慶応高校おめでとう！！

(平塚記)